

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 茨城県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	こころの医療センター	3
-	こども病院	4
北茨城市	北茨城市民病院	5
笠間市	笠間市立病院	6
筑西市	筑西市民病院	7
桜川市	さくらがわ地域医療センター	8
東海村	東海病院	9
県西総合病院組合	県西総合病院	10

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,844 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	36	指定病院の状況	救臨がへ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	475	66.0	82.5	83.4
療養	-	-	-	-
結核	25	0.1	13.6	15.7
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	62.7	79.0	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.3	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,867,009	
決算規模(千円)	1,303,704,426	
標準財政規模(千円)	644,612,252	
財政力指数	0.65584	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	196.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.6
修正医業収益(千円)	13,760,830

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,418,465			
1 経常収益	20,418,352			
(1) 医業収益	13,945,784			
入院収益	8,309,235			
外来収益	5,297,792			
診療収入計	13,607,027			
その他医業収益	338,757			
(うち他会計負担金)	184,954			
(2) 医業外収益	6,472,568			
(うち国・都道府県補助金)	3,196,456			
(うち他会計補助・負担金)	2,257,998			
(うち長期前受金戻入)	454,957			
(うち資本費繰入収益)	326,226			
(3) 特別利益	113			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,120,156			
2 経常費用	19,118,104			
(1) 医業費用	18,210,582			
職員給与費	9,727,080	69.7	62.1	55.8
材料費	4,645,260	33.3	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,512,483	18.0	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,050,945	14.7	11.4	13.0
減価償却費	1,138,191	8.2	9.5	8.7
経費	2,574,986	18.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,447,093	10.4	12.6	12.6
研究研修費	26,960			
資産減耗費	98,105			
(2) 医業外費用	907,522			
(うち支払利息)	68,768	0.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	2,052			
損益				
経常損益	1,300,248			
純損益	1,298,309			
累積欠損金	1,528,018			
経常収支比率	106.8		101.9	102.5
医業収支比率	76.6		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	17.5		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	94.0		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,159,281
1 固定資産	21,097,750
(1) 有形固定資産	20,750,842
(2) 無形固定資産	17,850
(3) 投資その他の資産	329,058
2 流動資産	10,061,531
(1) 現金及び預金	4,590,442
(2) 未収金及び未収収益	5,548,248
(3) 貸倒引当金( )	148,415
(4) 貯蔵品	71,256
3 繰延資産	-
負債合計	20,267,726
1 固定負債	10,445,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,906,472
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,213,733
(7) リース債務	324,864
2 流動負債	5,341,694
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,193,415
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	659,714
(6) リース債務	397,391
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,983,350
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,480,963
(1) 長期前受金	17,522,333
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,041,370
資本合計	10,891,555
1 資本金	13,291,719
2 剰余金	-2,400,164
(1) 資本金剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	-2,602,299
負債・資本合計	31,159,281
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,199,541	2,442,952
資本勘定繰入	624,749	624,749
計	2,824,290	3,067,701

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名					
病院名					
このころの医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,917 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨 災		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	276	78.1	78.4	82.4
感染症	-	-	-	-
計	276	78.1	78.4	82.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,867,009	
決算規模(千円)	1,303,704,426	
標準財政規模(千円)	644,612,252	
財政力指数	0.65584	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	196.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,081,698			
1 経常収益	4,076,993			
(1) 医業収益	2,900,217			
入院収益	2,122,805			
外来収益	520,029			
診療収入計	2,642,834			
その他医業収益	257,383			
(うち他会計負担金)	247,854			
(2) 医業外収益	1,176,776			
(うち国・都道府県補助金)	225,676			
(うち他会計補助・負担金)	739,169			
(うち長期前受金戻入)	143,438			
(うち資本費繰入収益)	54,888			
(3) 特別利益	4,705			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,014,588			
2 経常費用	4,010,319			
(1) 医業費用	3,877,122			
職員給与費	2,750,069	94.8	62.1	104.8
材料費	153,462	5.3	25.3	8.7
(うち薬品費)	121,366	4.2	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,854	1.1	11.4	1.3
減価償却費	313,454	10.8	9.5	13.5
経費	652,744	22.5	22.7	33.3
(うち委託料)	374,128	12.9	12.6	18.6
研究研修費	5,904			
資産減耗費	1,489			
(2) 医業外費用	133,197			
(うち支払利息)	48,856	1.7	1.3	2.7
(3) 特別損失	4,269			
損益				
経常損益	66,674			
純損益	67,110			
累積欠損金	3,018,059			
経常収支比率	101.7		101.9	101.4
医業収支比率	74.8		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	34.0		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	24.2		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	77.1		89.3	66.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,159,281
1 固定資産	21,097,750
(1) 有形固定資産	20,750,842
(2) 無形固定資産	17,850
(3) 投資その他の資産	329,058
2 流動資産	10,061,531
(1) 現金及び預金	4,590,442
(2) 未収金及び未収収益	5,548,248
(3) 貸倒引当金( )	148,415
(4) 貯蔵品	71,256
3 繰延資産	-
負債合計	20,267,726
1 固定負債	10,445,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,906,472
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,213,733
(7) リース債務	324,864
2 流動負債	5,341,694
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,193,415
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	659,714
(6) リース債務	397,391
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,983,350
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,480,963
(1) 長期前受金	17,522,333
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,041,370
資本合計	10,891,555
1 資本金	13,291,719
2 剰余金	-2,400,164
(1) 資本金剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	-2,602,299
負債・資本合計	31,159,281
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.4
修正医業収益(千円)	2,652,363

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	912,548	987,023
資本勘定繰入	142,787	142,787
計	1,055,335	1,129,810

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名					
病院名					
こども病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,503 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	115	84.4	88.6	91.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	115	84.4	88.6	91.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.2	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,867,009	
決算規模(千円)	1,303,704,426	
標準財政規模(千円)	644,612,252	
財政力指数	0.65584	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	196.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,466,246			
1 経常収益	1,466,246			
(1) 医業収益	36,333			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	36,333			
(うち他会計負担金)	28,706			
(2) 医業外収益	1,429,913			
(うち国・都道府県補助金)	32,201			
(うち他会計補助・負担金)	1,012,372			
(うち長期前受金戻入)	164,511			
(うち資本費繰入収益)	211,863			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,261,106			
2 経常費用	1,261,106			
(1) 医業費用	1,192,490			
職員給与費	319,469	879.3	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	453,507	1248.2	9.5	10.7
経費	417,238	1148.4	22.7	29.2
(うち委託料)	42,585	117.2	12.6	13.9
研究研修費	6			
資産減耗費	2,270			
(2) 医業外費用	68,616			
(うち支払利息)	40,982	112.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	205,140			
純損益	205,140			
累積欠損金	-			
経常収支比率	116.3		101.9	100.3
医業収支比率	3.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	71.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	2865.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	71.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	33.7		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,159,281
1 固定資産	21,097,750
(1) 有形固定資産	20,750,842
(2) 無形固定資産	17,850
(3) 投資その他の資産	329,058
2 流動資産	10,061,531
(1) 現金及び預金	4,590,442
(2) 未収金及び未収収益	5,548,248
(3) 貸倒引当金( )	148,415
(4) 貯蔵品	71,256
3 繰延資産	-
負債合計	20,267,726
1 固定負債	10,445,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,906,472
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,213,733
(7) リース債務	324,864
2 流動負債	5,341,694
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,193,415
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	659,714
(6) リース債務	397,391
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,983,350
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,480,963
(1) 長期前受金	17,522,333
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,041,370
資本合計	10,891,555
1 資本金	13,291,719
2 剰余金	-2,400,164
(1) 資本金剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	-2,602,299
負債・資本合計	31,159,281
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.6
修正医業収益(千円)	7,627

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,029,011	1,041,078
資本勘定繰入	362,754	362,754
計	1,391,765	1,403,832

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名	北茨城市				
病院名	北茨城市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,783 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	137	56.1	71.8	73.2
療養	46	61.4	59.5	62.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	183	57.4	68.7	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	16.5	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	41,801	
決算規模(千円)	29,471,454	
標準財政規模(千円)	10,474,880	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	111.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.0
修正医業収益(千円)	2,470,097

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,245,277			
1 経常収益	4,245,277			
(1) 医業収益	2,564,822			
入院収益	1,239,974			
外来収益	1,092,844			
診療収入計	2,332,818			
その他医業収益	232,004			
(うち他会計負担金)	94,725			
(2) 医業外収益	1,680,455			
(うち国・都道府県補助金)	1,341,155			
(うち他会計補助・負担金)	91,858			
(うち長期前受金戻入)	100,954			
(うち資本費繰入収益)	80,806			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,487,877			
2 経常費用	3,487,869			
(1) 医業費用	3,295,266			
職員給与費	1,644,330	64.1	62.1	67.4
材料費	382,240	14.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	211,969	8.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	166,492	6.5	11.4	8.8
減価償却費	262,111	10.2	9.5	10.7
経費	979,443	38.2	22.7	29.2
(うち委託料)	394,452	15.4	12.6	13.9
研究研修費	1,479			
資産減耗費	25,663			
(2) 医業外費用	192,603			
(うち支払利息)	37,883	1.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	8			
損益				
経常損益	757,408			
純損益	757,400			
累積欠損金	2,125,322			
経常収支比率	121.7		101.9	100.3
医業収支比率	77.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	116.4		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,475,119
1 固定資産	6,182,735
(1) 有形固定資産	5,850,119
(2) 無形固定資産	13,592
(3) 投資その他の資産	319,024
2 流動資産	1,292,384
(1) 現金及び預金	609,903
(2) 未収金及び未収収益	661,316
(3) 貸倒引当金( )	79
(4) 貯蔵品	16,577
3 繰延資産	-
負債合計	6,428,318
1 固定負債	3,659,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,351,480
(2) その他の企業債	273,498
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,534
2 流動負債	945,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	167,310
(2) その他の企業債	56,900
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	112,336
(6) リース債務	2,356
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	580,228
3 繰延収益	1,823,717
(1) 長期前受金	2,771,651
(2) 長期前受金収益化累計額( )	947,934
資本合計	1,046,801
1 資本金	3,026,683
2 剰余金	-1,979,882
(1) 資本金剰余金	145,440
(2) 利益剰余金	-2,125,322
負債・資本合計	7,475,119
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	186,583	186,583
資本勘定繰入	80,806	113,126
計	267,389	299,709

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名	笠間市				
病院名	笠間市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	2,670 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	86.2	89.0	79.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	86.2	89.0	79.5
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	17.5	21.7

設立団体の状況		
人口(人)	73,173	
決算規模(千円)	42,623,379	
標準財政規模(千円)	19,178,839	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.0
修正医業収益(千円)	711,164

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	956,313			
1 経常収益	955,997			
(1) 医業収益	790,014			
入院収益	296,656			
外来収益	281,717			
診療収入計	578,373			
その他医業収益	211,641			
(うち他会計負担金)	78,850			
(2) 医業外収益	165,983			
(うち国・都道府県補助金)	4,830			
(うち他会計補助・負担金)	145,252			
(うち長期前受金戻入)	12,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	316			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	989,573			
2 経常費用	987,037			
(1) 医業費用	836,337			
職員給与費	444,929	56.3	62.1	89.0
材料費	132,003	16.7	25.3	14.0
(うち薬品費)	105,492	13.4	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,282	2.7	11.4	5.4
減価償却費	83,716	10.6	9.5	13.0
経費	174,630	22.1	22.7	47.1
(うち委託料)	82,680	10.5	12.6	22.5
研究研修費	1,059			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	150,700			
(うち支払利息)	1,606	0.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	2,536			
損益				
経常損益	-31,040			
純損益	-33,260			
累積欠損金	644,214			
経常収支比率	96.9		101.9	98.5
医業収支比率	94.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	23.4		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	28.4		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	74.2		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,620,026
1 固定資産	1,233,956
(1) 有形固定資産	1,233,919
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	37
2 流動資産	386,070
(1) 現金及び預金	204,851
(2) 未収金及び未収収益	171,023
(3) 貸倒引当金( )	10
(4) 貯蔵品	10,206
3 繰延資産	-
負債合計	1,191,795
1 固定負債	964,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	938,038
(2) その他の企業債	26,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	110,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,966
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,312
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	56,118
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	117,261
(1) 長期前受金	162,454
(2) 長期前受金収益化累計額( )	45,193
資本合計	428,231
1 資本金	1,072,445
2 剰余金	-644,214
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-644,214
負債・資本合計	1,620,026
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	28,579	224,102
資本勘定繰入	10,496	11,675
計	39,075	235,777

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	筑西市		
病院名	筑西市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	19.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	19.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	100,753	
決算規模(千円)	53,528,482	
標準財政規模(千円)	25,583,874	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	64.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,596			
1 経常収益	27,596			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	27,596			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,596			
2 経常費用	27,596			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	27,596			
(うち支払利息)	27,596	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			茨城県
市町村・組合名	桜川市		
病院名	さくらがわ地域医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,536 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	80	59.6	60.1	60.7
療養	48	96.8	97.3	85.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	128	73.6	74.1	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.8	21.2

設立団体の状況		
人口(人)	39,122	
決算規模(千円)	23,052,154	
標準財政規模(千円)	11,744,425	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	62.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	552,235			
1 経常収益	552,235			
(1) 医業収益	7,014			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	7,014			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	545,221			
(うち国・都道府県補助金)	12,073			
(うち他会計補助・負担金)	302,709			
(うち長期前受金戻入)	224,909			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	552,235			
2 経常費用	552,235			
(1) 医業費用	507,587			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	361,907	5159.8	9.5	10.7
経費	145,680	2077.0	22.7	29.2
(うち委託料)	128,891	1837.6	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	44,648			
(うち支払利息)	23,262	331.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	1.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	54.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	4315.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	54.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	45.2		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,395,438
1 固定資産	5,722,058
(1) 有形固定資産	5,636,426
(2) 無形固定資産	85,632
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	673,380
(1) 現金及び預金	246,852
(2) 未収金及び未収収益	426,528
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,354,615
1 固定負債	4,488,036
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,487,036
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	207,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	197,191
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,783
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,658,605
(1) 長期前受金	1,993,947
(2) 長期前受金収益化累計額( )	335,342
資本合計	40,823
1 資本金	13,951
2 剰余金	26,872
(1) 資本金剰余金	23,461
(2) 利益剰余金	3,411
負債・資本合計	6,395,438
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.4
修正医業収益(千円)	7,014

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,709	302,709
資本勘定繰入	120,099	120,099
計	422,808	422,808

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名	東海村				
病院名	東海病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,202 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	75.9	79.3	78.9
療養	40	80.3	84.7	80.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	78.1	82.0	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.0	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	37,891	
決算規模(千円)	24,235,381	
標準財政規模(千円)	11,282,856	
財政力指数	1.38	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	306,728			
1 経常収益	306,728			
(1) 医業収益	6,814			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	6,814			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	299,914			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	287,751			
(うち長期前受金戻入)	11,914			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	306,151			
2 経常費用	306,151			
(1) 医業費用	281,650			
職員給与費	4,708	69.1	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	134,873	1979.4	9.5	11.7
経費	141,637	2078.6	22.7	31.2
(うち委託料)	7,785	114.3	12.6	14.3
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	432	-	-	-
(2) 医業外費用	24,501	-	-	-
(うち支払利息)	24,501	359.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	577			
純損益	577			
累積欠損金	53,181			
経常収支比率	100.2		101.9	100.3
医業収支比率	2.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	93.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	4222.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	93.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	6.2		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,744,779
1 固定資産	2,609,267
(1) 有形固定資産	2,599,304
(2) 無形固定資産	80
(3) 投資その他の資産	9,883
2 流動資産	2,135,512
(1) 現金及び預金	2,119,618
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,436,412
1 固定負債	1,066,632
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,066,632
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	71,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,697
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	222
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	298,643
(1) 長期前受金	504,610
(2) 長期前受金収益化累計額( )	205,967
資本合計	3,308,367
1 資本金	3,361,162
2 剰余金	-52,795
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-52,795
負債・資本合計	4,744,779
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.4
修正医業収益(千円)	6,814

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	102,134	287,751
資本勘定繰入	47,595	47,595
計	149,729	335,346

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	780.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	県西総合病院組合		
病院名	県西総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	28.6
療養	-	-	-	27.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	28.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	15.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,047			
1 経常収益	23,590			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	23,590			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	23,590			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	457			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,047			
2 経常費用	24,047			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	24,047			
(うち支払利息)	23,590	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-457			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.1		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	98.1		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	86.6

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	23,590	23,590
資本勘定繰入	229,837	229,837
計	253,427	253,427

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。